

情報・統計処理 課題 6・7 (グラフの作成)

システム自然科学研究科 宮原 一弘

1. グラフが含まれたレポートの作成 (課題 6)

本日の授業中に作成したグラフから、種類の異なるグラフ 2 つを選択し、それらを Word に貼り付けたレポート文書を作成してください。グラフは、軸ラベル、凡例など必要な要素を正しく配置すること。グラフエリア全体を枠線で囲み、キャプション(グラフのタイトル)は Word 側で付与してください(Excel でグラフタイトルは付けない)。

- 名古屋市区別人口 (元の表を使用した他のグラフでも構わない)
- 名市大過去 10 年 (もしくは 5 年) の学部別入学志願者数
- 名市大平成 31 年度入学生の学部別比率
- 名古屋市の 2018 年, 月別降水量と気温

この課題は、A4 サイズ 1 枚で印刷し、本日の授業時間中に提出してください。終わらなかった場合にも、途中経過を必ず提出してください。その場合、来週の授業開始前までに完成版を提出してください。

2. グラフの作成と論文形式文書への挿入 (課題 7)

課題 4 で作成した論文形式文書にはグラフが 6 つ使用されています (図 1~4)。これと同等のグラフを Excel で作成し、課題 4 で作成したファイル中のグラフ (画像ファイル) を置き換えて論文を完成させてください。詳細については下記に挙げた点に留意してください。

- グラフの元となるデータは、共有フォルダからコピーした「癌死亡データ 1958-2017.xls」「癌罹患データ 1975-2014.xls」の 2 つのみを利用してください。対象とする調査年は、図 1 についてはデータに含まれているすべての年、図 2, 図 3 については 1975 年から、死亡率は 2015 年まで、罹患率は 2010 年まで、図 4 については 1975 年から最新年のデータまでとすること。
- グラフのデザインやレイアウトは、オリジナルのグラフと全く同じである必要はありません。
- 図 2, 図 3 については、それぞれ 2 つのグラフに分けて作成しても構いません。ただし、その場合には図番号を分け、本文中の参照箇所もそれに合わせたものに変更すること。
- この課題が、宮原担当の前半部で最も配点ウェイトが高いものの一つになります。グラフ以外にも、論文形式の文書としてあるべき点をもう一度確認し、必要があれば修正の上、きれいで読みやすい論文に仕上げてください。すでに提出された論文中で、気になった点を裏面に挙げておきます。

提出要領は前回と同様とします。PDF ファイルをネットワークドライブ上の共有フォルダ (Y:\report\宮原一弘\情報統計処理\論文最終提出) に提出すること。期限は 6/12 (水) とします。

第 1 回目の授業でも紹介しましたが、この論文は 2009 年に鈴木貞夫先生が執筆されたものです。本文を読むと分かりますが、鈴木先生自身が、今回の課題と同じ数値データからグラフを作成しています。したがって、医学部で学ぶ、研究していくためには、近い将来これと同等の素養が要求されるということです。元データの表が複雑なので難しく感じるかもしれませんが、本日の授業で紹介した基本的な操作の組み合わせでできてしまいますので、じっくりとチャレンジしてください。

3. 提出された論文形式文書で気になった点

提出された課題において、例年見られる問題点を挙げておきます。非常に細かい点もありますが、完成した論文として見ると、気になってしまうものです。課題7の提出時には、必ず修正をしておくこと。

- タイトルの書体、サイズをふさわしいものに変更する。
- 名前に付与する脚注の位置を正しく配置する。
- 本文の書体は明朝体とする。また基本的な明朝体、ゴシック体以外の書体を用いない。
- フォントが揃っていない箇所がある。ほとんどが明朝体だが、一部の段落のみゴシック体、明朝体の太字になっている。図タイトルや見出しの設定を、後の段落まで引きずっているのが原因。
- 和文フォントの [B] ボタンによる太字化は行わない。
(図のタイトルに多い。ゴシックに変更した見出しについては、太字を解除する。)
- 英数字は欧文専用フォントを使用する。MS明朝やMSゴシックとなっているものは見た目が悪い。
- 相互参照について課題の指示にしたがっていない。【図1】【文献参照1件】といった記述が残ったままになっている。【 】(すみ付き括弧)は削除する。
- 相互参照箇所で次のようなエラーが発生している。「エラー! 参照元が見つかりません」
- 見出しの連番がおかしい。特に「見出し3」の形式が指示と違う。
- 見出しに下線などの装飾は不要。
- 見出し行にはインデント(左の余白)をつけない。
- 見出しの連番とタイトルの間の余白が大きすぎる。
- 段落の先頭は字下げ(基本的には全角1文字分)を行う。
- 文献の見出し(見出し1)に、連番は付けない。「5.」は削除する。
- 文献一覧のインデント、ぶら下げがおかしい。
- 図の縦横比を変更しない。
- 改ページの位置に気を付ける。
- ハイパーリンク(青文字、アンダーライン)は削除する。
- メールアドレスは大学のアドレスを記載する。
- ページ番号がない。
- ファイル名は指示通りに付けること。